

浦田天神祭り

土師3区の細い路地先にある浦田天神社は、別名「くぎぬき天神」とも言われる神社です。同神社は菅原道真公をお祭りし、今では土師地区で、唯一残っているものです。

まだ炭鉱全盛期で、JR篠栗線が開通した昭和43年。桂川町の商工会青年部では、地域活性化

を図るため、この浦田天神社で毎年7月25日に開催される例祭に合わせ、ステージイベントなどを開くことにしました。狭い路地という悪条件の中、青年部は知恵を出し合い、様々な企画を展開し、あわせて露店も多数出店。この日は親子連れなどで、大変な賑わいを見せていました。

そして、盆踊り大会と同じく、この浦田天神祭りのステージイベントや出店などは、平成7年まで続けられました。

※浦田天神社の例祭は、氏子衆を中心に現在でも7月25日に開催されています。

(参考…歩こうふるさと 桂川)

浦田天神祭りの思い出

浦田天神祭りとして、ステージイベントや出店などが多く出たころ、商工会青年部の皆さんなどが、朝早くから何日もかけて準備されていたことを、良く覚えています。

今でも7月25日には、例祭を行い菅原道真公を祭っています。が、少子化の影響か、以前のように子どもたちの笑い声が聞こえなくなっており、少し寂しい感じがしますね。

現在、7月25日の例祭を初め、年末年始の祭典などにも、氏子一同頑張っており組んでいます。



浦田天神社
氏子の皆さん（土師3）



〔浦田天神祭り〕